

風向風速用
LED大型表示器

OT-975BD

取扱説明書



大田商事株式会社

1. 概要

本器は、既存の気象観測装置（風向風速、雨量等）に接続する事で、観測結果を大型表示し、離れた場所への情報伝達が容易にできるように制作されました。

表示にはLEDを使用し、発熱や消費電力を抑えながらも、斜角方向からも数値が確認できるように設計されています。

接続にはRS-232C(OT-901、OT-708等)に加え、RS-485接続(OT-920等)端子を有しており、ケーブル接続後は電源スイッチを入れるだけで観測データを表示します。

RS-485通信には、市販のLANケーブルを使用しており、OT-920からの距離が長距離でも通信することが出来ます。

また、内部設定スイッチの切り替えで、瞬間風速／平均風速の断続切り替え表示や、警報発令時の点滅表示（メータ連動表示時のみ）等の選択が可能です。

「瞬間」「平均」の文字は、1次警報時は黄色、2次警報時は赤色に変化します。

重量は12kgと軽量に作られており、また背面に10mmのボルトで各種金具を取り付けられるように設計されていますので、現場での施工も簡単に行えます。本体外装はステンレス製で防錆性が高く堅牢です。

2. 仕様

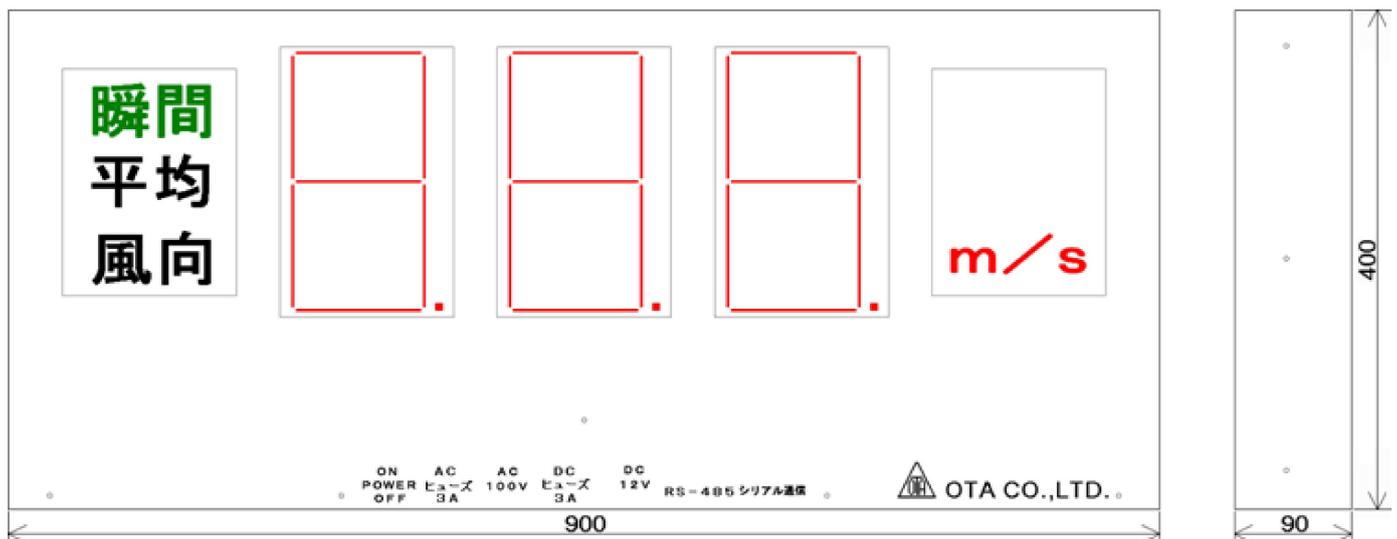
表示	瞬間値／平均値(数字)／風向(16方位) メータ連動表示・自動切替表示 (*1) 警報連動点滅表示 (*2)
視認距離	約100m以上 (曇天時。当社調べ) (*3)
発光方式	LED(数字・単位:赤 瞬間・平均:3色)
接続	D-Sub 9Pin / LANケーブル
電源	AC100-120V / DC12V
消費電力	AC100V 約20W(MAX30W) DC12V 約1A(MAX1.8A)
文字高	数字 215mm 単位 50mm
本体寸法	400(H) × 900(W) × 90(D)mm (突起物含まず)
重量	約12Kg

*1 風向風速計は、メータ連動表示時も風向・風速切替表示。
自動切替表示は瞬間・平均・風向の切替表示。

*2 メータ連動表示のみ。

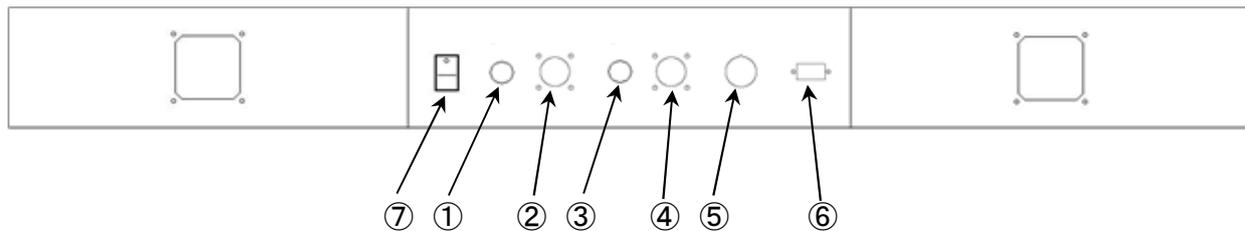
*3 視認距離は視力等による個人差があります。導入時にご確認ください。

3. 外形



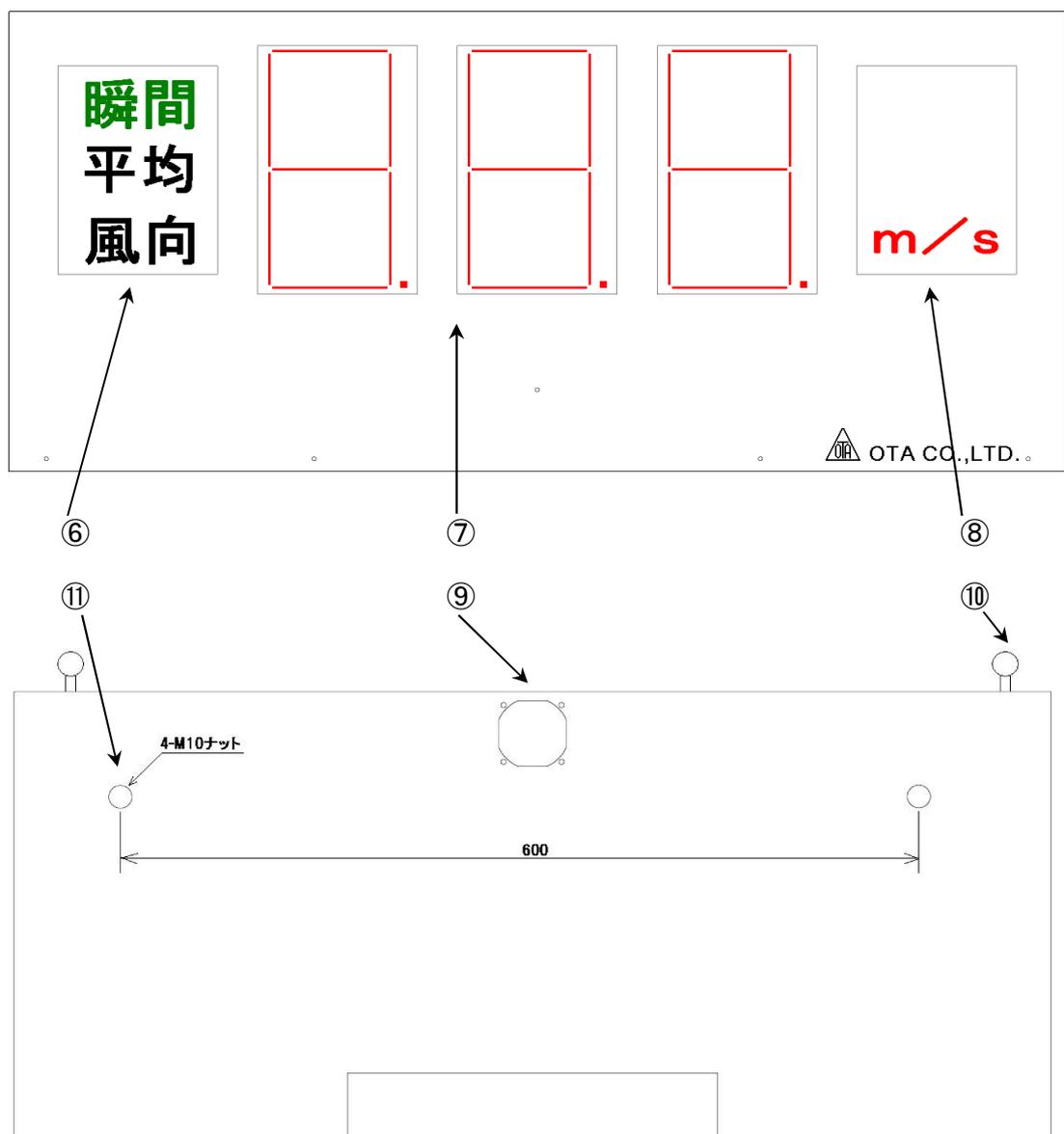
4. 名称説明

4-1 各種スイッチ、コネクタ名称



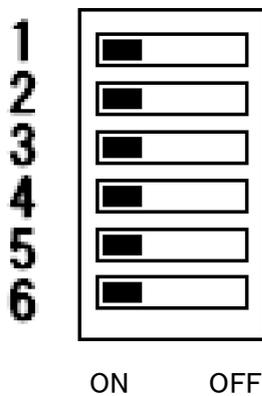
- | | | |
|---|------------------------|-----------------------------|
| ① | AC用ヒューズホルダ | AC用のヒューズ(3A)を入れます。 |
| ② | AC100V入力コネクタ | 商用AC100Vを接続します。 |
| ③ | DC用ヒューズホルダ | DC用のヒューズ(3A)を入れます。 |
| ④ | DC12V入力コネクタ
(オプション) | 外部DC12Vを接続します。 |
| ⑤ | RS-485接続コネクタ | LANケーブルを接続し、各種測定機器と通信を行います。 |
| ⑥ | D-Sub 9Pinコネクタ | RS-232Cの各種測定機器と接続し通信を行います。 |
| ⑦ | 電源スイッチ | 本器の電源のON/OFFを行います。 |

4-2 パネル名称



- ⑥ 測定種類 現在⑦で表示している種類が点灯します。
瞬間／平均に関しては、1次警報発生時は黄色、2次警報発生時は赤色で表示します。
- ⑦ 数値 瞬間／平均風速値を表示時は数値を、風向値表示時は16方位(アルファベット)を表示します。
風速値表示、警報発生時は内部スイッチ設定により、点滅表示することができます。
- ⑧ 単位 瞬間／平均風速値表示時「m/s」が点灯し、風向値表示時は消灯します。
- ⑨ ファン 内部温度上昇を防止するために、外部に空気を送り出すためのファンです。
雨の侵入を防ぐために、付属のカバーを取り付けることができます。
- ⑩ アイボルト 転倒防止等の固定用や、設置時等に御使用ください。
- ⑪ 固定用取付ナット 単管等の各種金具を取り付けるためのM10のボルトをナットで固定できます

5. 内部設定スイッチ説明



- 1 ON: メータ連動表示
OFF: 自動切替表示
- 2 ON: 警報発生時点滅表示(メータ連動表示のみ)
OFF: 警報発生時通常表示
- 3~6 切替表示時間設定

3	OFF	ON	OFF	ON	OFF	...	OFF	ON
4	OFF	OFF	ON	ON	OFF	...	ON	ON
5	OFF	OFF	OFF	OFF	ON	...	ON	ON
6	OFF	OFF	OFF	OFF	OFF	...	ON	ON

注意) ディップスイッチの設定を変更する場合は、必ず、電源を落としてから作業してください。
電源を投入したまま作業をすると、スイッチを切り替えても設定が変更されない場合があります。
電源を投入したまま、ディップスイッチを切り替えた際は、必ず、一旦電源を落として10秒以上間隔を置いた後、電源の再投入を行ってください。

6. 操作説明

各種測定機器とRS-485(OT-920等)又は、RS-232C(OT-901、OT-708等)で接続し、⑤の電源スイッチをONにすると、全点灯表示テストを行った後、「0.0」を表示します。

その後、5.の内部設定スイッチで設定した表示動作を行います。
通信データは、1秒毎に送られてきますので、表示は1秒間隔で更新されます。

7. 注意事項

本器を設置する際は、安全確認を行い、2名以上で作業を行ってください。

大田商事株式会社

〒103-0023 東京都中央区日本橋本町1-8-3

TEL. (03) 3517-2236(代表)

FAX. (03) 3517-2237

